

9	913	この夏の星を見る	辻村深月	KADOKAWA	コロナ禍であらゆる活動が制限された2020年。茨城・東京・長崎の五島列島にいる中学・高校生達は自作の望遠鏡で星を見付ける活動をきっかけにしてオンライン会議で交流を深めていく。コロナ禍でもこんなに楽しいプロジェクトができた彼らに脱帽する。
10	913	成瀬は天下を取りに行く	宮島未奈	新潮社	幼稚園時代からの幼なじみ成瀬と島崎の中学二年から高校三年生までの青春物語。主人公成瀬の行動は変わっている。閉店まで毎日西武大津店へ通い続けたり、突然坊主頭にした。しかし、読み進むうちに彼女の魅力に取りつかれてしまう。読後が爽やかな小説。
11	913	月の立つ林で	青山美智子	ポプラ社	毎日のはけがえのないものであり、人とのつながりを大事にしていこうと前向きな気持ちになれる。各章の登場人物が他章の人物とつながっていくところが面白い。最終章でラジオ放送の司会者「タケトリノオキナ」の正体がわかる。じんと温くなる一冊。
12	490	QOLって何だろう	小林 亜津子	筑摩書房	QOLとは「生命の質」と訳される生命倫理学のキーワード。現代社会が直面する高齢者の「フレイル」や「地域包括ケア」「看取り搬送」などを取り上げているので、命を生きる本人の「幸福」や「満足」を考えさせられる。
13	002	ネット情報におぼれない学び方	梅澤 貴典	岩波書店	確かな情報の探し方・使い方をわかりやすく書いた本。ネットと図書館の複合的活用術や探究活動の成果をアウトプットする方法等が記載。情報の信頼性を見抜く力＝情報リテラシーを身につけよう。
14	913	風が強く吹いている	三浦 しをん	新潮社	都内の大学に通う学生達が箱根駅伝を目指してにわかにチームを結成し一年足らずでその夢を実現してしまう。青春小説のバイブル。
15	933	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	早川書房	「頭が良くなりたい」「もっと友達がほしい」それだけの願いだったのに…。友情とは、人間とは、愛とは何なのかを考えさせられる作品。
16	382	英語対訳で読む日本のしきたりー伝えたい“ニッポンの心	新谷尚紀	実業之日本社	初詣、結婚式、着物、達磨などについて、どれだけ知っている？説明できる？——この本を読めば、目から鱗！英語の説明の下には要所所に語訳が付いているので、肩ひじ張らずに読め、英語の勉強にも日本文化の理解にも役立つ。留学希望の人は必読。
17	911	空のかあさま	金子みすゞ	ジュラ出版局	「みんな違って みんないい」で有名な金子みすゞさんの、他の詩も読んでみて。他の人が目に留めないところに心を砕く、優しい彼女の詩に、きっと心癒されるはず。
18	913	クスノキの番人	東野 圭吾	実業之日本社	『容疑者Xの献身』『流星の絆』など、緻密な伏線とドキドキのミステリーで知られる東野圭吾氏だが、この作品は『ナミヤ雑貨店の奇跡』に近い。ありえない設定だが、そんなことを微塵も感じさせないほど引き込まれる。読後はほっと心が温くなるでしょう。
19	002	学びの技: 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション 改訂版	登本洋子 (他)	玉川大学出版部	レポート・論文を論理的にまとめたり発表する時の準備方法がわかりやすく記載された良書。
20	361	10代のうちに知っておきたい言葉と心の切りかえ術	大野 萌子	笠間 書院	相手にマイナスの印象を与えてしまう「言いがちワード」を良い方向に切りかえ、「こんな風に話してみよう」という具体例を48のケースで紹介。コミュニケーション能力を高めることで、たとえば言いたいことをいう時でも「好かれる自己主張」をしようという一冊。